日本の資源と産業

名前

問1　日本各地の特産物の収穫量を比較したとき、長崎県が全国1位、千葉県が全国2位の収穫量を誇る果実として正しいものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. びわ
2. さつまいも
3. みかん
4. じゃがいも

問2　日本国内の主要な資源産地について、新潟県の佐渡島では金が、島根県の石見地方では銀がそれぞれ盛んに採掘されていました。このうち、島根県の石見地方に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて世界有数の産出量を誇ったことで、2007年に世界文化遺産に登録された鉱山の名称として正しいものを選びなさい。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. 別子銅山
2. 足尾銅山
3. 佐渡金山
4. 石見銀山

問3　ロシアの広範囲に産地が分布しており、日本の輸入量全体に占めるロシアの割合が6割を超えているエネルギー資源について、その輸入動向を説明したものとして適切なものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

1. 日本はこの資源の約65パーセントをロシアから輸入しており、インドネシアやアメリカも主要な輸入先となっている。
2. 日本はかつて国内で盛んにこの資源を産出していたが、現在は輸入のすべてをアメリカに依存している。
3. この資源は西アジアからの輸入が中心であり、ロシアからの輸入割合は1割に満たない。
4. この資源は主にオーストラリアから輸入されており、ロシアは第3位の輸入先である。

問4　山梨県において、1970年代から8月の最高気温が上昇傾向にあるという統計データが見られます。このような地球温暖化の影響を受ける中で、従来の品種よりも暑さに強く、10アールあたりの収穫量が90キログラム以上多い新しいコメの品種を開発し、導入する取り組みを何と呼びますか。（2026年 山梨県公立入試 類似）

1. 冷害対策
2. 促成栽培
3. 化学肥料の増量
4. 品種改良

問5　水力発電は、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーの一つとして、古くから日本で利用されてきました。この発電方法の効率を高めるために必要な地理的条件と、その仕組みについて述べた文章として正しいものはどれですか。（2024年 愛媛県公立入試 類似）

1. 海水の干満の差を利用するため、海岸線が複雑に入り組んだリアス海岸が適しており、潮の流れでタービンを回して発電する。
2. 地下深くにあるマグマの熱を利用するため、火山活動が活発な地域が適しており、発生した蒸気で発電機を回して発電する。
3. 安定した風を捉える必要があるため、周辺に遮蔽物がない大規模な平野部が適しており、風車の回転を電気に変換して発電する。
4. 河川の水の落差を利用するため、急峻な地形で降水量が多い山間部が適しており、水の勢いで水車を回して発電する。

問6　日本の農産物の流通において、生産者から出荷された品物がスーパーマーケットなどの小売業者に届く前に、大量の品物を集めて仕分けを行う役割を担う伝統的な経路上の業者は何ですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 運輸業者
2. 卸売業者
3. 商社
4. 製造業者

問7　日本の農業と食料自給率の動向について述べた文として、肉類の生産量・消費量および自給率の推移を正しく説明しているものはどれですか。（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. 国内生産量が急速に増加したため、消費量の増加にもかかわらず自給率は80パーセント以上の高い水準を維持している。
2. 消費量が大幅に減少したため、国内生産量が減っても自給率は90パーセント近くまで上昇している。
3. 消費量が増加傾向にある一方で国内生産量は伸び悩んでおり、自給率は概ね30から50パーセントの低い水準で推移している。
4. 消費量と国内生産量がともに減少傾向にあり、自給率は10パーセント未満の非常に低い水準で推移している。

問8　等高線が密に入り組んだ山間部の地域において、2000年から2015年にかけて65歳以上の人口割合が43.4%から56.7%へと上昇し、さらに地域内に2か所あったガソリンスタンドが1か所に減少した状況を想定します。このような地域において、ガソリンスタンドの減少が住民、特に高齢者の生活に与える深刻な影響として最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）

1. 耕作放棄地が次々と商業施設に転換され、生活の利便性が飛躍的に向上する
2. 若年層の人口が急増しているため、公共交通機関の利用者が大幅に増加する。
3. 自家用車や暖房用の燃料確保が困難になり、移動や生活の維持が難しくなる。
4. 都市部と同様の価格競争が激化し、ガソリンの販売価格が大幅に低下する。

問9　日本の年齢別人口構成の変化を示した資料において、1985年に比べて2015年は若年層の割合が小さくなり、高齢者層が厚くなっていることが分かります。このような社会の変化が、地域の祭りや伝統芸能の存続にどのような影響を与えているか、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 少子高齢化によって伝統文化を継承する若い世代が減少し、その存続が危ぶまれている。
2. 国際化の影響で海外の文化が流入し、日本の伝統文化が法的に禁止されつつある。
3. 過疎化が進んだことで、伝統文化を維持するための経済的基盤が完全に失われている。
4. 都市部への人口集中により、地域住民が伝統文化への関心を全く持たなくなっている。

問10　2024年度の統計において、日本への輸入割合がアラブ首長国連邦（43.7%）、サウジアラビア（40.0%）、クウェート（6.8%）の順に高く、その約9割を西アジアに依存しているエネルギー資源は何ですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. 液化天然ガス（LNG）
2. 石炭
3. 鉄鉱石
4. 原油

問11　日本が、不要になった家電製品からレアメタルを回収し、リサイクルを推進している理由として、世界の資源状況を踏まえた背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 不要になった家電製品をそのまま海外へ輸出し、輸出額を増やすことで貿易黒字を維持するため
2. レアメタルは日本国内の山地で容易に大量採取できるため、採掘コストを抑えて生産を増やすため
3. 家電製品を不法投棄することによって、土壌に含まれるレアメタルが自然に増殖するのを防ぐため
4. レアメタルの産出地は特定の国に偏っており、輸入が滞るリスクに備えて資源の安定確保を図るため

問12　日本の漁業は、かつての「獲る漁業」から、人工的な管理を行う「育てる漁業」へとその比重を移しています。海や池にいけすやいかだを設置し、卵や稚魚から出荷に適した大きさに成長するまで一貫して人工的に管理する漁業の名称を選択してください。（2019年 香川県公立入試 類似）

1. 遠洋漁業
2. 養殖業
3. 栽培漁業
4. 沖合漁業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 びわ	びわは温暖な気候を好む果実であり、長崎県が日本一の収穫量を誇ります。千葉県も房総半島の温暖な気候を利用した栽培が盛んで、全国2位となっています。みかんは和歌山県や愛媛県、さつまいもは鹿児島県が主な産地です。
問2	答え 4 石見銀山	島根県大田市にある石見銀山は、16世紀から17世紀にかけて大量の銀を産出し、一時期は世界の産出量の約3分の1を日本が占めていたと言われるほどの影響力を持っていました。江戸時代には幕府の直轄地（天領）とされ、日本の経済を支える重要な拠点となりました。新潟県の佐渡金山や愛媛県の別子銅山、栃木県の足尾銅山など、他の代表的な鉱山と位置や産出資源を区別することが重要です。
問3	答え 1 日本はこの資源の約65パーセントをロシアから輸入しており、インドネシアやアメリカも主要な輸入先となっている。	ロシアは世界有数の資源大国であり、石炭の産地が国内に広く分布しています。2024年の日本の統計では、この資源の輸入先としてロシアが65.3パーセントと圧倒的なシェアを占めており、次いでインドネシアやアメリカからの輸入が多くなっています。原油などの他資源と比較して、ロシアへの依存度が非常に高いことが特徴です。
問4	答え 4 品種改良	地球温暖化による気温上昇という環境の変化に対応するため、その土地の気候に合った新しい性質を持つ種や苗を作ることを品種改良と呼びます。かつての日本の稲作では、東北地方などを中心に夏の低温による「冷害」を防ぐための改良が盛んでしたが、近年は猛暑による品質低下や収穫量減少を防ぐための「高温耐性」を持つ品種の開発が重要視されています。
問5	答え 4 河川の水の落差を利用するため、急峻な地形で降水量が多い山間部が適しており、水の勢いで水車を回して発電する。	再生可能エネルギーには太陽光、風力、地熱などがありますが、水力発電は「水の落差（位置エネルギー）」を「回転エネルギー」に変えて電気を作ります。日本は国土の約4分の3が山地であり、季節風や梅雨、台風によって降水量も多いため、急流を利用した水力発電に適した環境にあります。一方、平坦な土地や都市部では十分な落差が得られないため、大規模な水力発電には向きません。
問6	答え 2 卸売業者	生産者から届く大量の農産物を買い取り、各地の小売店へ必要な分だけ振り分ける役割を担うのが卸売業者です。近年の日本では、この卸売業者を通さずに消費者に届けるなど、流通の経路が多様化しています。
問7	答え 3 消費量が増加傾向にある一方で国内生産量は伸び悩んでおり、自給率は概ね30から50パーセントの低い水準で推移している。	日本の肉類は、食生活の変化によって消費量が増加傾向にありますが、国内での生産量が伸び悩んでいるため、自給率は約30から50パーセントという低い水準で推移しています。
問8	答え 3 自家用車や暖房用の燃料確保が困難になり、移動や生活の維持が難しくなる。	公共交通機関が十分に整備されていない山間部では、通院や買い物などの移動に自家用車が不可欠であり、冬場の暖房用灯油の確保も重要です。高齢化が進む中でガソリンスタンドという生活インフラが失われることは、これら燃料の入手を困難にし、自立した生活を継続することを阻む大きな要因となります。
問9	答え 1 少子高齢化によって伝統文化を継承する若い世代が減少し、その存続が危ぶまれている。	日本の多くの地域では、子供の数が減り高齢者が増える「少子高齢化」が進行しています。祭りや伝統芸能は、古くからその土地の若い世代へ技術や精神が受け継がれることで維持されてきましたが、担い手となる若者が減少したことで、技術の継承が困難になり、文化そのものが消滅してしまう危機に直面しています。
問10	答え 4 原油	日本のエネルギー供給において、火力発電や輸送燃料の原料となる原油は極めて重要な資源です。かつてはインドネシアなど東南アジアからも多く輸入していましたが、現在はサウジアラビアやアラブ首長国連邦といった西アジア（中東）の国々への依存度が非常に高まっており、全体の約9割を占めています。
問11	答え 4 レアメタルの産出地は特定の国に偏っており、輸入が滞るリスクに備えて資源の安定確保を図るため	レアメタルは、産出地が中国や南アフリカ共和国など一部の国に集中しているため、国際情勢や産出国の政策によって供給が不安定になるリスクがあります。ハイテク産業に不可欠なこれらの資源を安定的に手に入れるため、国内で廃棄される家電製品から回収して再利用する「リサイクル」の仕組みを整えることが、日本の資源安全保障において極めて重要となっています。
問12	答え 2 養殖業	海や池などの限定された区画において、餌を与えながら出荷まで人の手で育てる形態を指します。卵から稚魚まで育てた後に海へ放流し、成長してから再び捕獲する「栽培漁業」とは、出荷まで継続して管理し続けるという点で区別されます。近年ではブリやマダイ、クロマグロなどの魚種で盛んに行われています。